

第19回九州オープン大会

4月24、25日／博多の森

文と写真◎後藤優太 協力◎福岡県連盟

村上雄人

林佑太郎

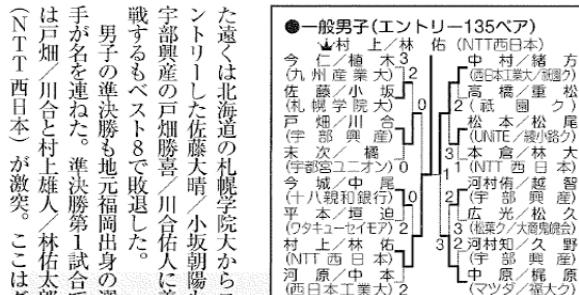


一般男子

波乱含みも、最後は実力で。

初ペアの村上／林佑(NTT西日本)が優勝。賞金50万円獲得

初日は、第1シードの鹿島鉄平／井口雄介や村田匠ペアがともに福岡大ペアに敗れ、予選リーグ敗退する波乱の幕開け。男女ともに地元選手の活躍が目立った。地元クラブ出身の松本秀之／松尾誠(UNITE／綾小路クラブ)は決勝トーナメント初戦で一昨年の西日本一般で準優勝した柳田賢太郎／神川浩大をファイナルで退け、続く2回戦は芳村玲ペアにファイナルで逆転勝利を收めると、勢いそのまま優勝候補の一角、本倉健太郎／林大喜(NTT西日本)をG④へと退ける。準々決勝で準優勝した中村海斗／緒方勇門(西日本工業大／祇園クラブ)にファイナルで惜敗したが、大空を盛り上げる素晴らしい活躍を見せた。ま



1920年から開催されていた前身の西日本実業団軟式庭球大会から数え101回目の大会となった。昨年100回の記念として賞金大会が企画されていたが中止に。本年は賞金大会を引き継ぎ、それによりカテゴリーも増設して2日間開催に。例年であれば参加していた韓国からの招待選手は新型コロナウイルスの影響で来日できなかったが、盛大に開催された。

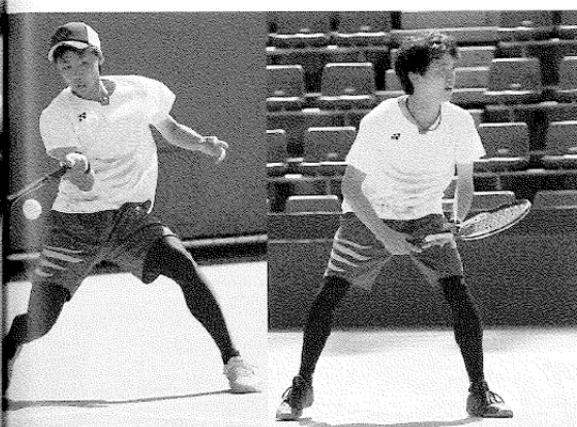
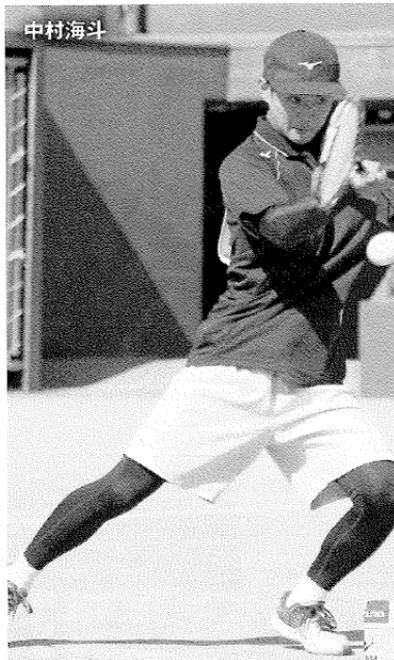


村上／林佑は多彩な選手同士で、晴れ合った

戦するもベスト8で敗退した。男子の準決勝も地元福岡出身の選手が名を連ねた。準決勝第1試合で宇都興産の戸畠勝喜／川合佑人に善本をG④へと退ける。準々決勝で準優勝した中村海斗／緒方勇門(西日本工業大／祇園クラブ)にファイナルで惜敗したが、大空を盛り上げる素晴らしい活躍を見せた。ま

は戸畠／川合と村上雄人／林佑太郎(NTT西日本)が激突。ここはダ

第19回九州オープン大会

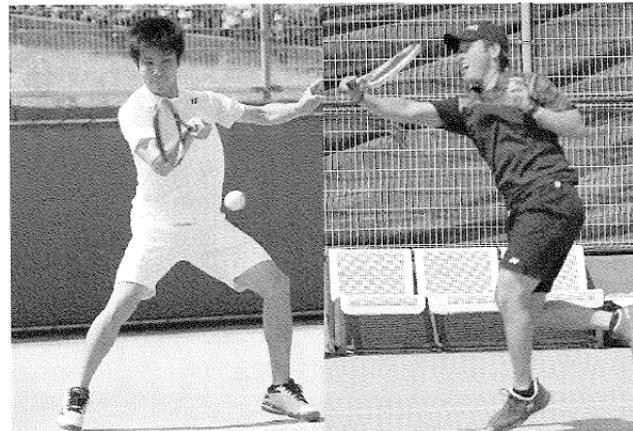


3位の戸畠勝喜／川合佑人(宇部興産)

→準優勝の中村(右)／諸方(西日本工業大／祇園クラブ)



3位の中原寛海／梶原佳志(マツダ／福大クラブ)



松本秀之／松尾誠(UNITE／綾小路クラブ)

ブルフォワードで積極的に仕掛ける。村上／林がストレートで勝利する。 第2試合は中村／諸方と中原寛海／梶原佳志(マツダ／福大クラブ)が対戦。こちらは中村が梶原と息もつかせぬ好リリーを見せる、中原と諸方が前衛力を見せファインアルへ。最後は中村／諸方が⑦-12で振りきり、決勝戦へ駒を進めた。

決勝戦に残った林と中村。二人は福岡県の吉富中ではペアを組み、全中ベスト8の成績を残した。高校ソフトテニス界の名門である高田商業に林が、中村が岡山理大附に進学し離れるも、地元福岡の地で決勝という舞台が用意された。

林は、「村上さんと組むのが初めてだったので、いろいろ教えてもらひながら考えて試合をできた」と話していたが、決勝戦で最高のパフォーマンスを見せ、村上／林がG3-1-0と引き離した。4ゲーム目を中村／諸方もなんとか奪取するも、最後は押しきられG④-1-1で村上／林が優勝を決めた。

試合後、村上は、「僕自身なかなかタイトルに遠ざかっていたので、今回優勝は非常にうれしいです」と話した。敗れた中村は、「トップクラスのブルフォワードにならなか対応しづらかった」と話した。

その他カテゴリーを含め開催された本大会。男女各カテゴリーに集結した選手は試合ができる喜び、観戦者はトッププレーを近くで観戦できる喜び、そして開催した福岡県ソフテニス連盟の方々はコロナ禍ながら開催できたことの達成感を感じたと話す。来年はより多くのトッププレイヤーが福岡に集結し、熱闘を繰り広げてほしい。

ブルフォワードで積極的に仕掛ける。
村上／林がストレートで勝利する。
第2試合は中村／諸方と中原寛海／梶原佳志(マツダ／福大クラブ)が対戦。こちらは中村が梶原と息もつかせぬ好リリーを見せる、中原と諸方が前衛力を見せファインアルへ。最後は中村／諸方が⑦-12で振りきり、決勝戦へ駒を進めた。

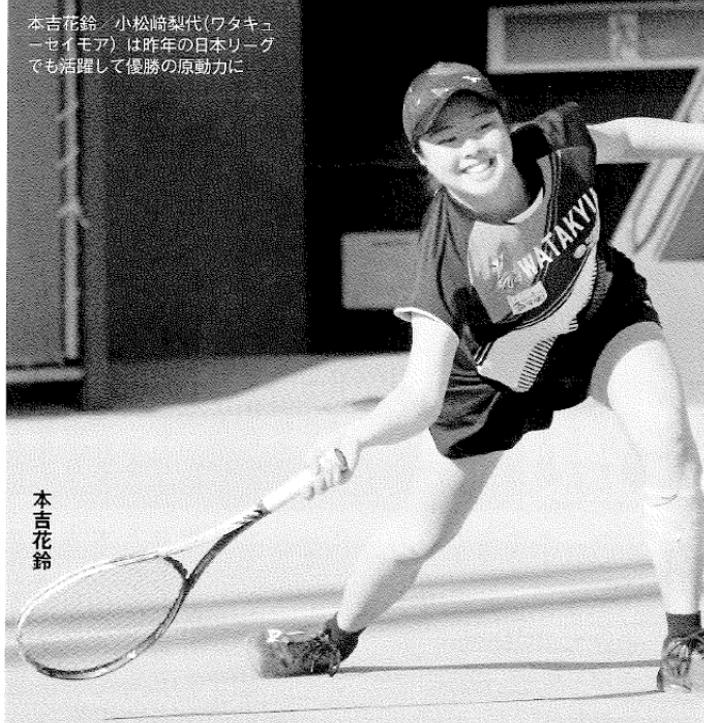


本吉花鈴 小松崎梨代(ワタキューセイモア)は昨年の日本リーグでも活躍して優勝の原動力に

一般女子

成長を示したV。

4強に3ペアのワタキュー、
本吉／小松崎がうれしい個人優勝



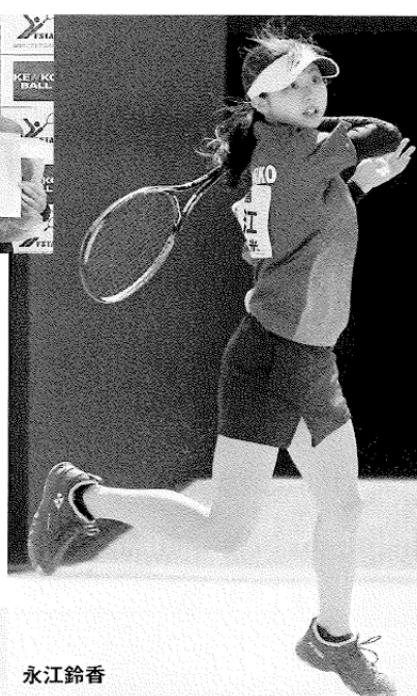
本吉花鈴



小松崎梨代



準優勝の永江鈴香／古藤向日葵
(東洋観光)



永江鈴香



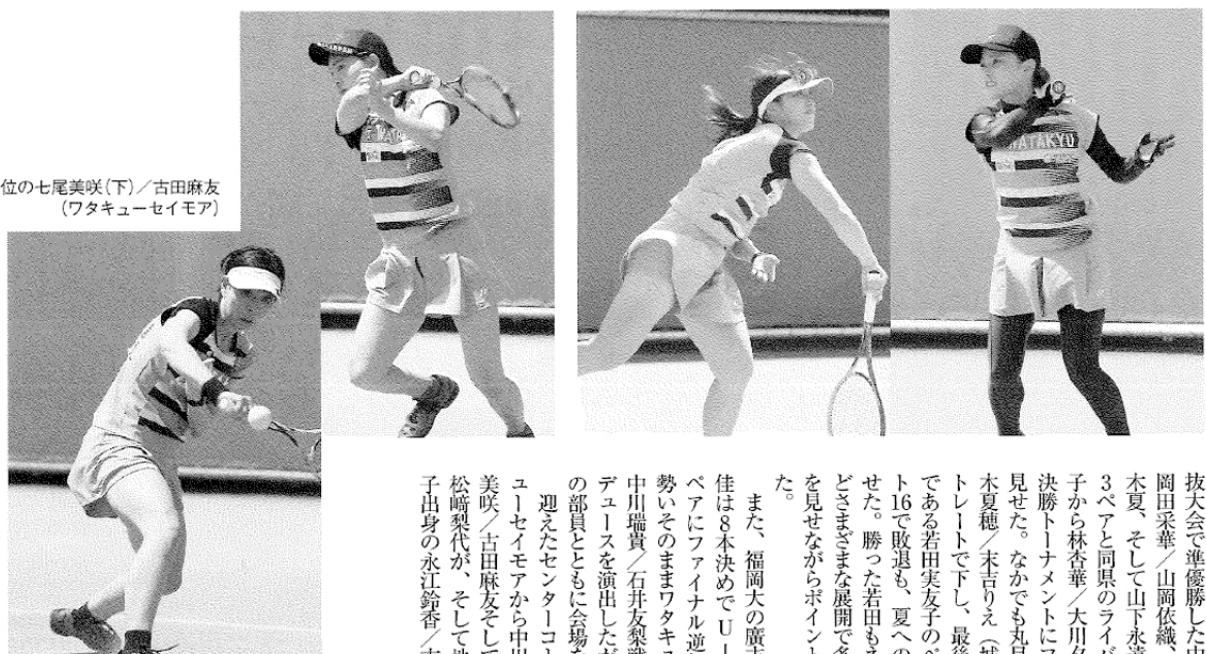
古藤向日葵

●一般女子(エントリー81ペア)	
山本 吉	小松崎 (ワタキューセイモア)
齋藤 元	村 永 (東洋観光)
谷川 古	川 高 (高橋/武市)
七尾 古	田 岡 大 (福岡大)
林 大	川 岩 (佐々木)
井手 大	川 岩 (中村学園女子高)
本吉	小松崎 (佐々木)
勝田	根岸 (岩村)
時田	高柳 3 (川口)
りい	岸 廣末 (北広島)
	澤 (福岡大)
	澤 (PUER)
	澤 (城山観光)

第19回九州オープン大会

3位の中川瑞貴(左)／石井友梨(ワタキュー・セイモア)

3位の七尾美咲(下)／古田麻友
(ワタキュー・セイモア)



丸吉萌(左)／佐々木夏(中村学園女子)

また、福岡大の廣末菜桜／石野佳は8本決でU-10の加奈乃佳ペアにファイナル逆転勝ちを收め、勢いそのままワタキュー・セイモアの中川瑞貴／石井友梨戦はファイナルデュースを演出したが敗退。福岡大迎えたセンターコートにはワタキュー・セイモアから中川／石井、七尾美咲／古田麻友そして元中村学園女子出身の永江鈴香／古藤向日葵(東

ト16で敗退も、夏への期待感を抱かせた。勝った若田もネットプレーなどさまざまな展開で多くの引き出しを見せながらポイントを重ねていっ

た。また、福岡大の廣末菜桜／石野佳は8本決でU-10の加奈乃佳ペアにファイナル逆転勝ちを收め、勢いそのままワタキュー・セイモアの中川瑞貴／石井友梨戦はファイナル

デュースを演出したが敗退。福岡大迎えたセンターコートにはワタキュー・セイモアから中川／石井、七尾

美咲／古田麻友そして元中村学園女子出身の永江鈴香／古藤向日葵(東

初日の予選リーグを全日本高校選抜大会で準優勝した中村学園女子の岡田采華／山岡依織、丸吉萌／佐々木夏、そして山下永遠／岩田愛実の3ペアと同県のライバル校・博多女子から林杏華／大川夕佳が勝ち抜き、

決勝トナメントにフレッシュさを見せた。なかでも丸吉／佐々木は黒木夏穂／末吉りえ(城山高校)をストレートで下し、最後は同校の先輩である若田実友子のペアに敗れベスト16で敗退も、夏への期待感を抱かせた。勝った若田もネットプレーなどさまざまな展開で多くの引き出しを見せながらポイントを重ねていっ

た。また、福岡大の廣末菜桜／石野佳は8本決でU-10の加奈乃佳ペアにファイナル逆転勝ちを收め、勢いそのままワタキュー・セイモアの中川瑞貴／石井友梨戦はファイナルデュースを演出したが敗退。福岡大迎えたセンターコートにはワタキュー・セイモアから中川／石井、七尾美咲／古田麻友そして地元中村学園女子出身の永江鈴香／古藤向日葵(東

洋観光)が進んだ。

同士討ちとなつた七尾／古田と本吉／小松崎との試合はG④-1-2で

本吉／小松崎と本吉／西日本(西日本・綾小路クラブ)

と永江／古藤との試合は中川ペアに

本吉／小松崎が勝利すると、中川／石井

と永江／古藤との試合は中川ペアに

3位の中川瑞貴(左)／石井友梨(ワタキュー・セイモア)

●45女子(エントリー7ペア)
片山／山中牟田 1 山口／山 藍
(福大ク) 2 (信頼ク/鶴ヶ丘)



中牟田優勝 片山
福大クラブ

●45男子(エントリー15ペア)
片山／奥村(NTT西日本・波小路ク) 1
片山／篠原(トトオ) 2
丸山／沖(サンテック) 1
丸山／沖(サンテック) 2
岩永／奥村(NTT西日本・波小路ク) 0
橋口／占部(福間ク) 1



奥村(NTT西日本・
綾小路クラブ)
岩永
高井・糟屋クラブ

●55女子(エントリー9ペア)

決勝リーグ		1	2	3	4	5
1	山 口／宮崎(鳥栖ク/人吉ク)	1	④	④	1	
2	松 元／舛田(福塙ク/那珂川ク)	2	1	3	3	
3	水 田／中野(大野城ク/カトレア)	2	④	1		



宮崎優勝 山口
島田酒クラブ

●55男子(エントリー17ペア)
山口／高井(福屋ク/サンテック) 1
倉橋／海(鹿児島中央ク) 3
河野／増田(鹿児島中央ク) 1
徳永／高井(サンテック) 3
山口／龍野(佐賀ク) 1
山田／龍野(佐賀ク) 2



高井・糟屋クラブ
サンテック
徳永
日本製鉄八幡

●65女子(エントリー5ペア)

決勝リーグ		1	2	3	4	5
1	北原／西村(大野城ク)	1	④	0	1	④
2	中島／口田(大野城ク)	1	3	④	0	5
3	矢野／大村(呉クリンク)	④	④	0	④	2
4	小糸／佐藤(サンテック/鶴ヶ丘)	④	④	④	④	1
5	前田／野田(行橋ク/小倉鉄道)	2	④	1	1	4



佐藤優勝 小糸
福大クラブ

●65男子(エントリー15ペア)
沼田／白石(鳥居ク/日本製鉄八幡) 1
天本／石田(鳥居ク/日本製鉄八幡) 1
上野／野田(山口ク) 1
日根野／満(球磨ク/人吉ク) 1
井元／宮本(筑豊ク/山口ク) 2



石田(鳥居ク/日本
製鉄八幡)
天本
日本製鉄八幡